

平成 26 年（2014 年）の岩木山の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

地震活動、噴気、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 発表中の火山現象に関する警報等

平成 19 年 12 月 1 日 10 時 20 分	噴火予報（平常）
----------------------------	----------

○ 2014 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～11）

百沢東に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

8 月 26 日から 28 日にかけて実施した現地調査では、鳥ノ海噴火口や種蒔苗代、及び湯ノ沢上流域に地熱域¹⁾ はみられませんでした。赤沢上流でも明瞭な地熱域は確認されず、前回（2007 年 8 月 30 日）との比較でも、総じて変化は認められませんでした。

11 月 6 日に青森県の協力により実施した上空からの観測でも、噴気及び地熱域は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（図 12、図 13）

火山性地震は少ない状況で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 14、図 16）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータその他、国土地理院、弘前大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

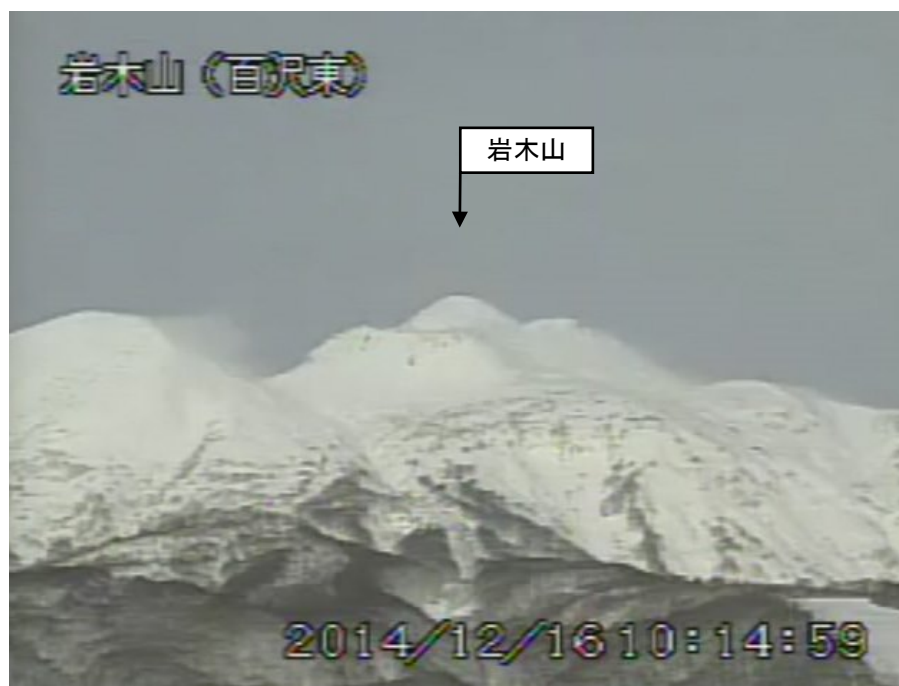


図 1 岩木山 山頂部の状況 (12 月 16 日)

百沢東 (山頂の南東約 4 km) に設置してある遠望カメラの映像です。

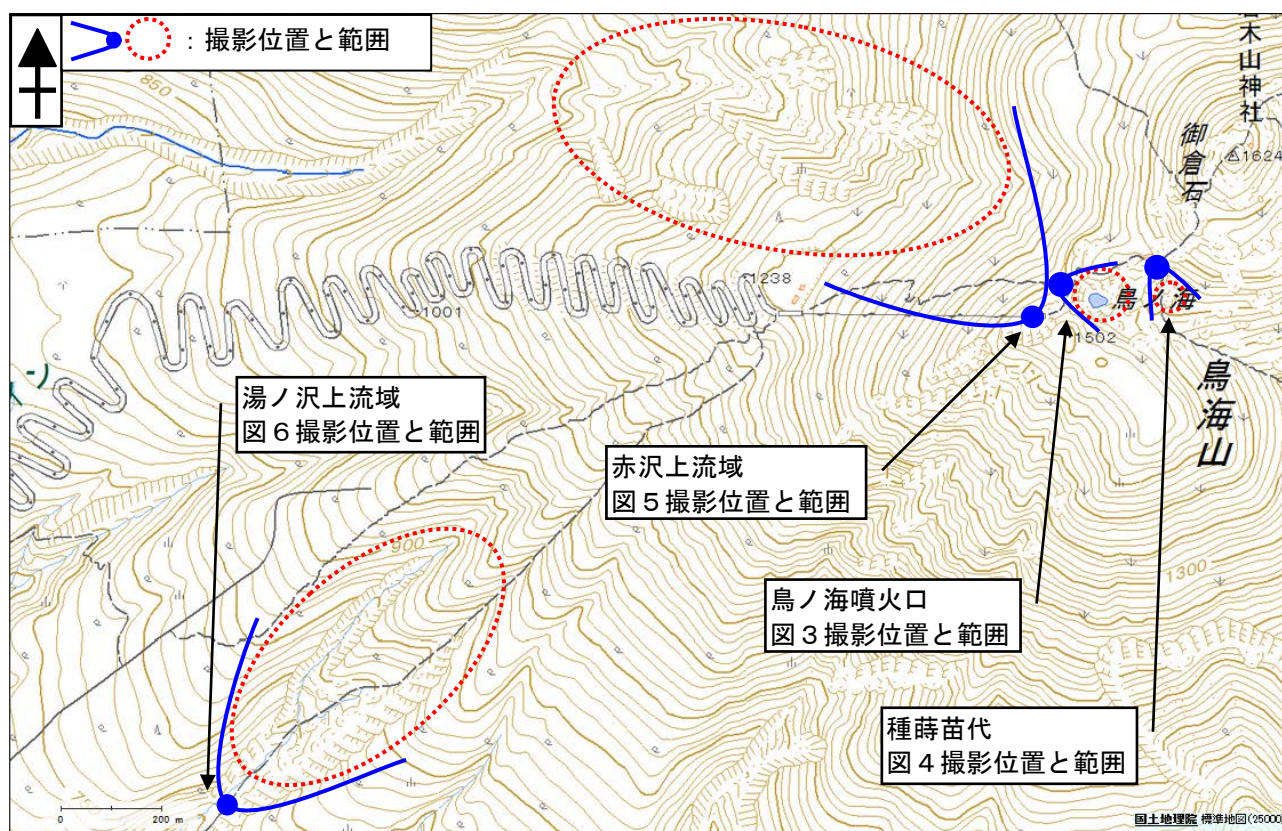


図 2 岩木山 鳥ノ海噴火口、種蒔苗代、赤沢上流域、湯ノ沢上流域の写真及び地表面温度分布¹⁾ 撮影位置と範囲

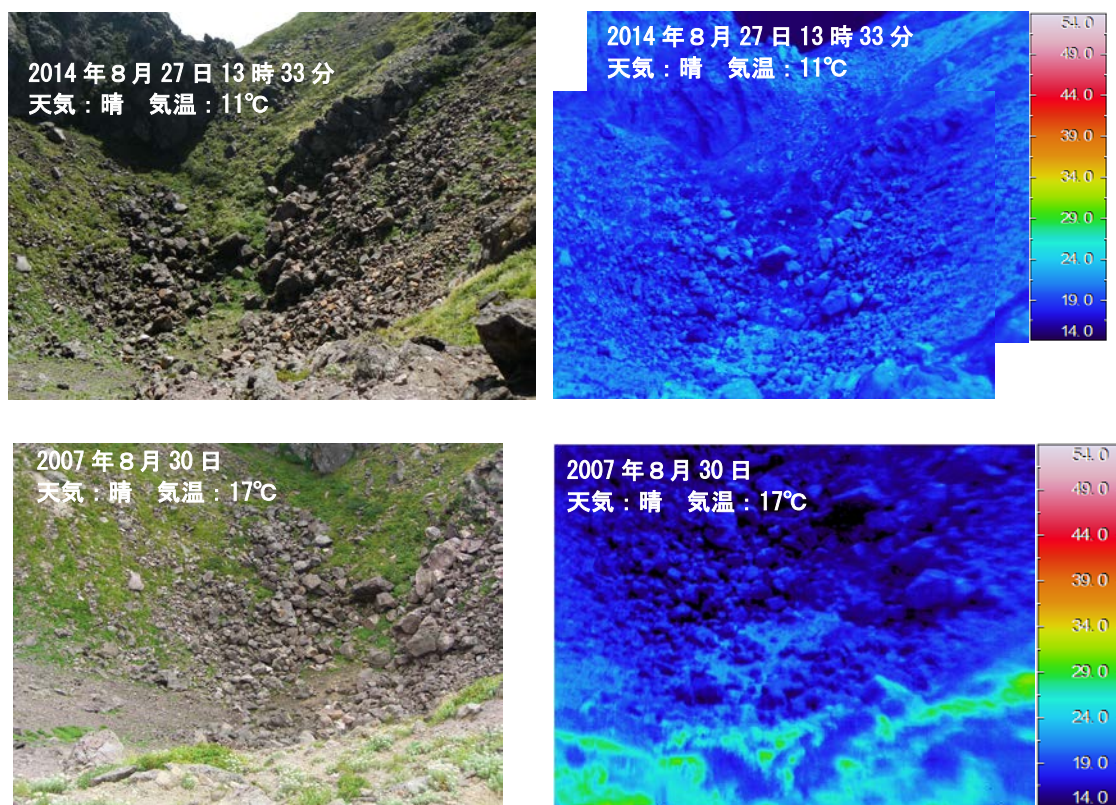


図3 岩木山 鳥ノ海噴火口付近の状況と地表面温度分布

- ・地熱域は認められませんでした。
- ・2014年8月30日にみられるやや温度の高い領域は日射による影響です。

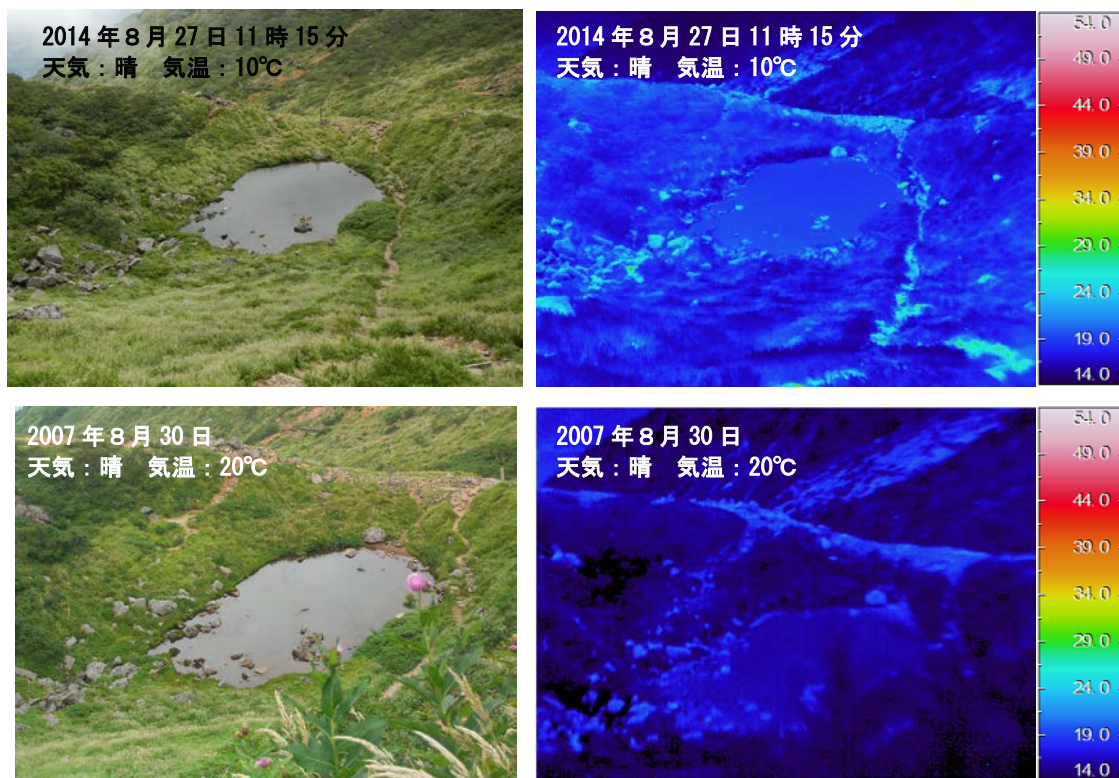


図4 岩木山 種蒔苗代の状況と地表面温度分布

- ・地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・2014年8月27日にみられるやや温度の高い領域は日射による影響です。

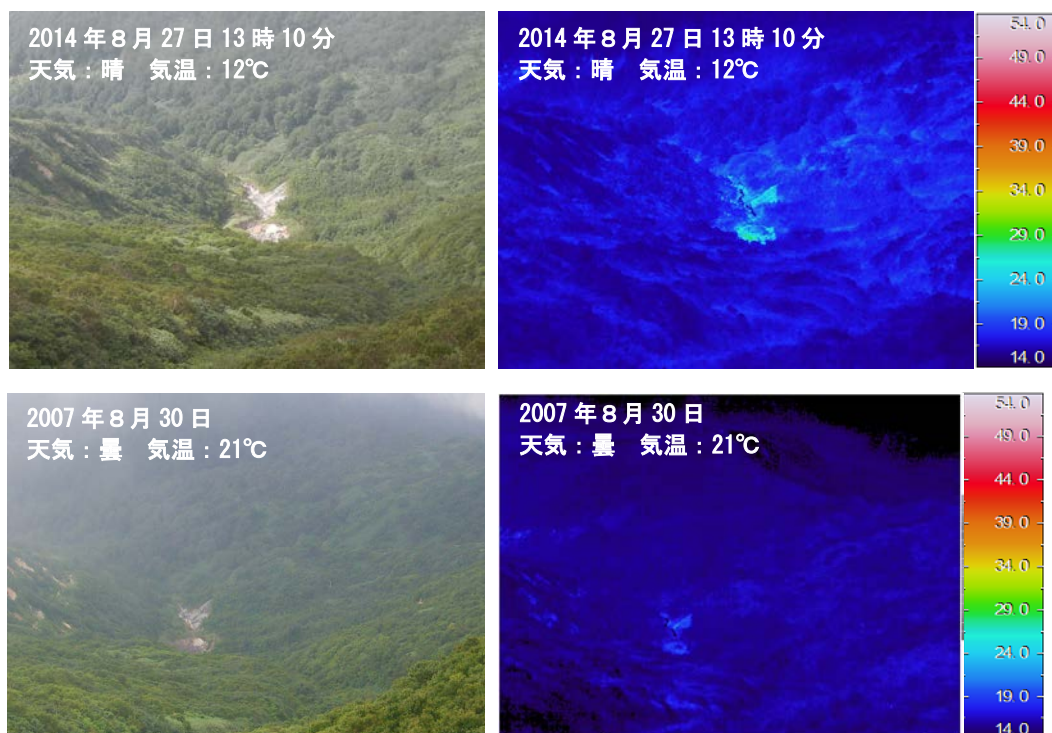


図 5 岩木山 登山道から見た赤沢上流域の状況と地表面温度分布

- ・明瞭な地熱域は認められませんでした。
- ・2014 年 8 月 27 日にみられるやや温度の高い領域は日射による影響です。

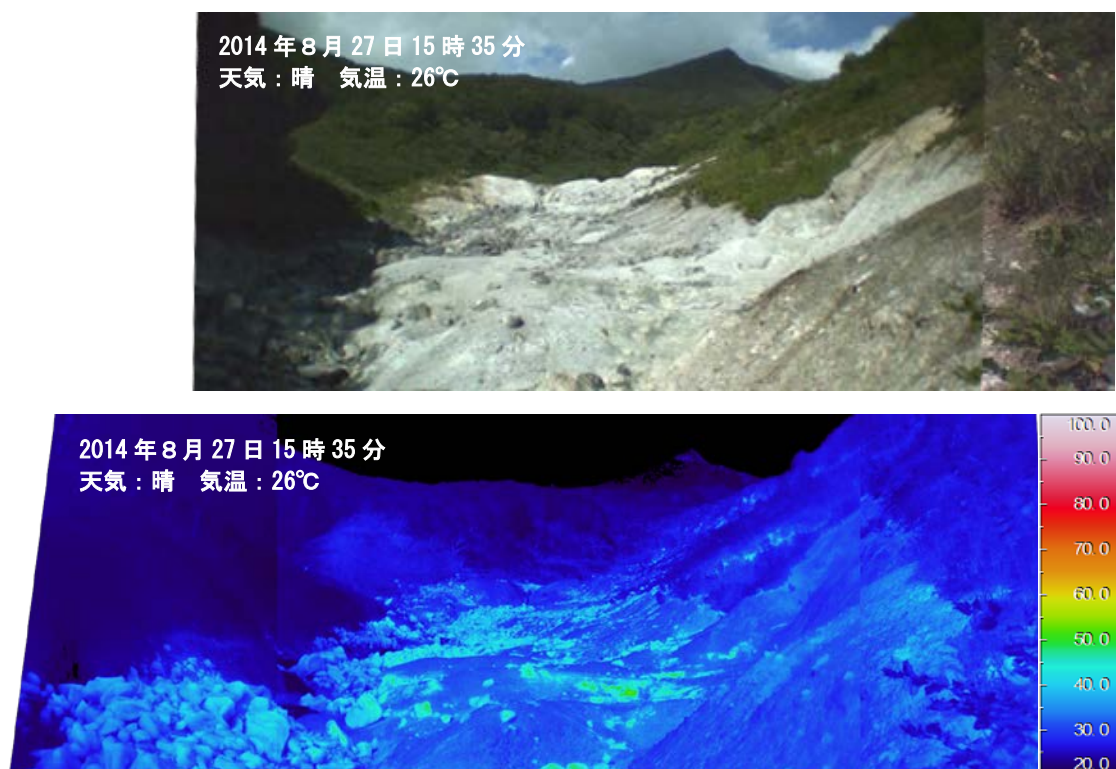


図 6 岩木山 湯ノ沢上流域の状況と地表面温度分布

- ・地熱域は認められませんでした。
 - ・やや温度の高い領域は日射による影響です。
- 注) 湯ノ沢上流域は 2007 年には撮影していません。

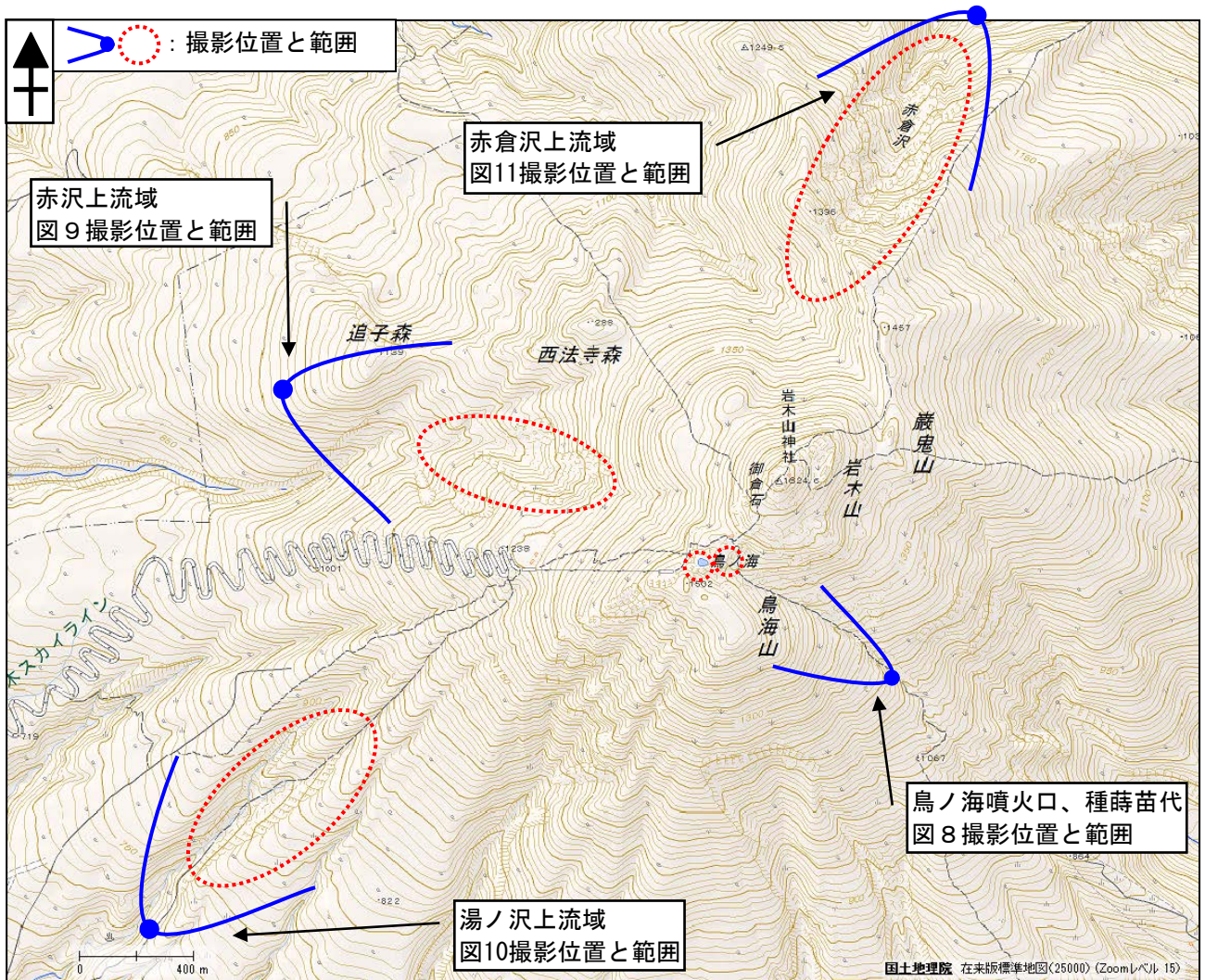


図 7 岩木山 上空からの写真及び地表面温度分布撮影位置と範囲

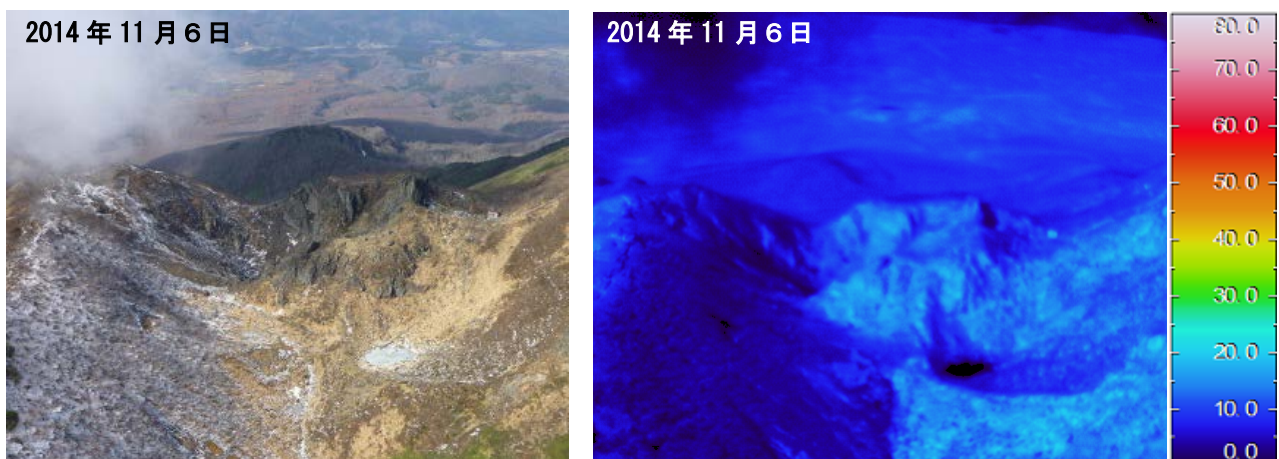


図 8 岩木山 鳥ノ海噴火口と種蒔苗代の状況及び地表面温度分布
・地熱域は認められませんでした。

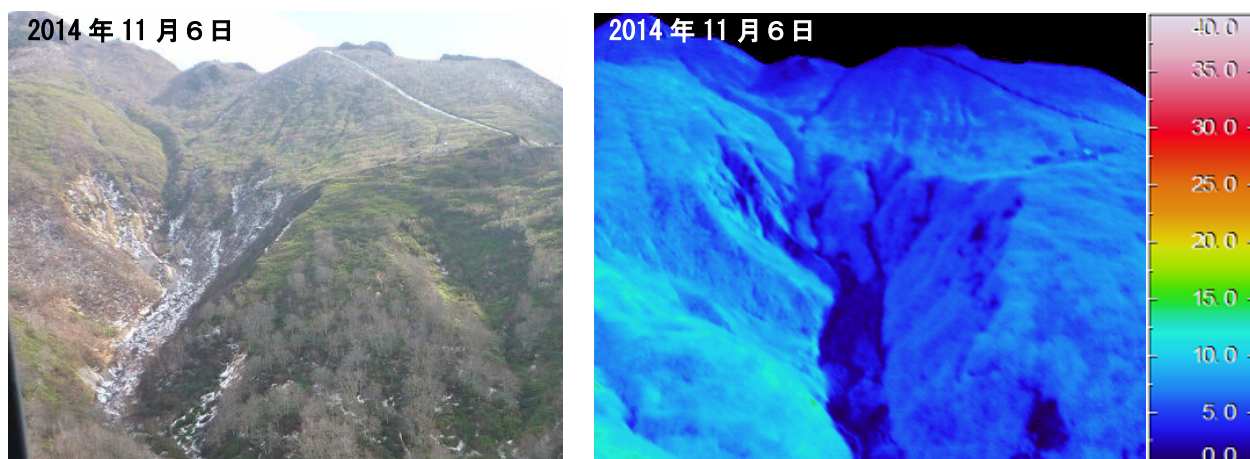


図 9 岩木山 赤沢上流域の状況及び地表面温度分布

・地熱域は認められませんでした。

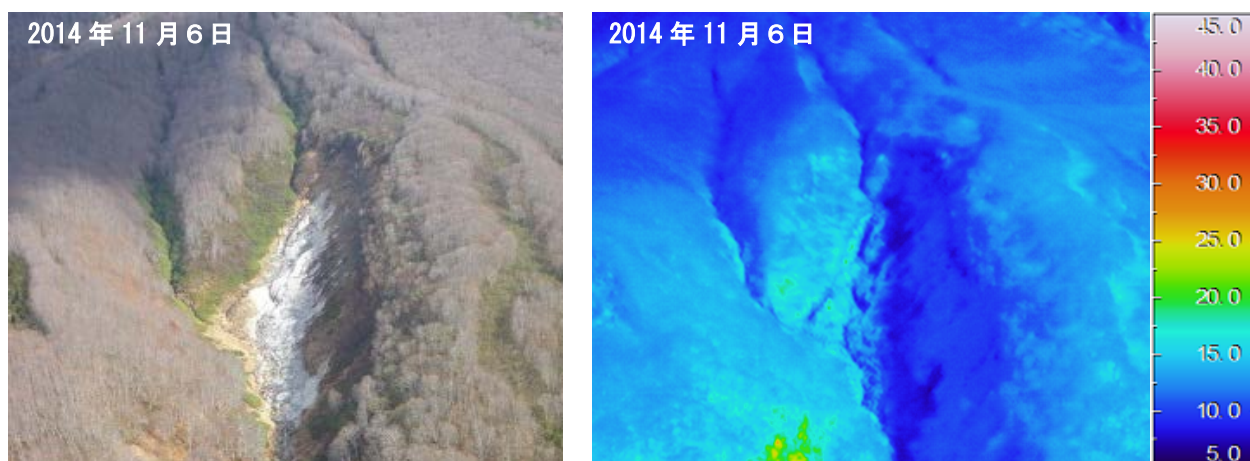


図 10 岩木山 湯ノ沢上流域の状況及び地表面温度分布

・地熱域は認められませんでした。

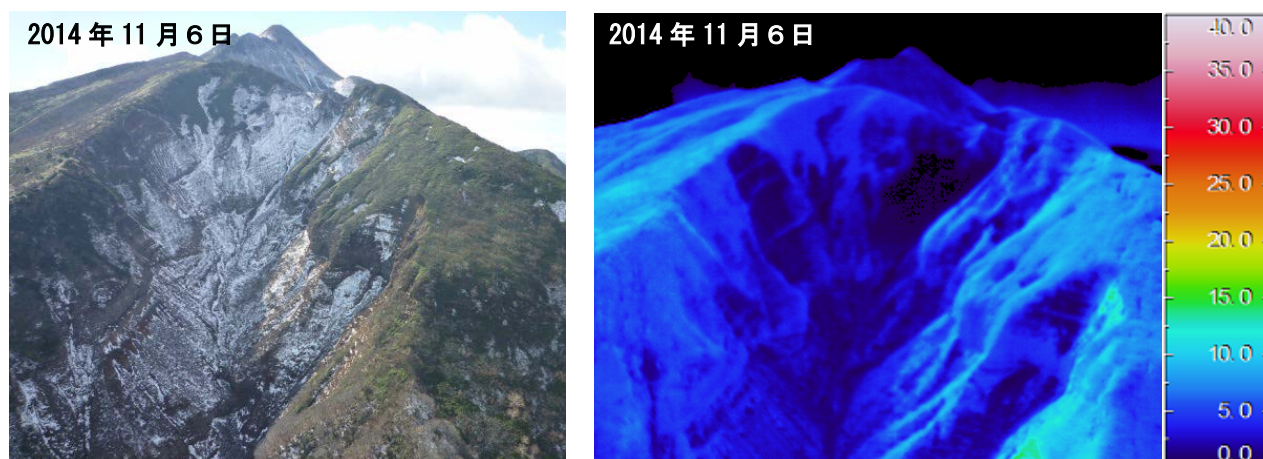


図 11 岩木山 赤倉沢上流域の状況及び地表面温度分布

・地熱域は認められませんでした。

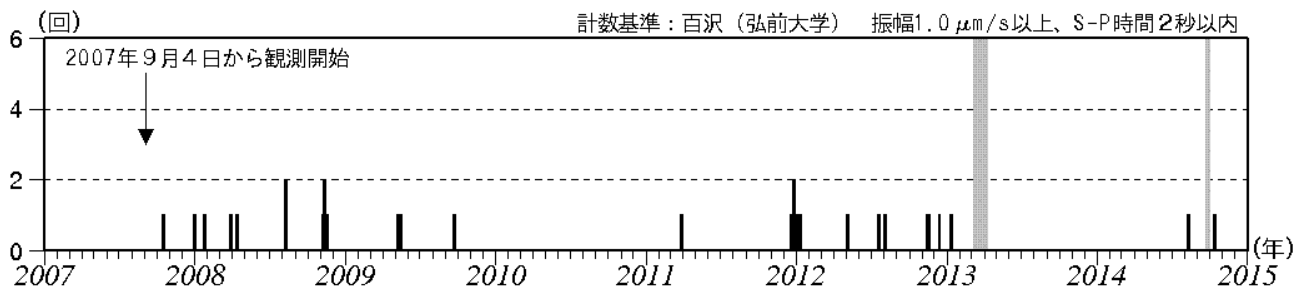


図 12 岩木山 日別地震回数（2007 年 9 月～2014 年 12 月）

- ・ 弘前大学からのデータ提供により、2007 年 9 月 4 日から観測を開始しています。
- ・ 2013 年 3 月 6 日～4 月 9 日及び 2014 年 9 月 23 日～30 日（図の灰色部分）は機器障害のため欠測となっています。

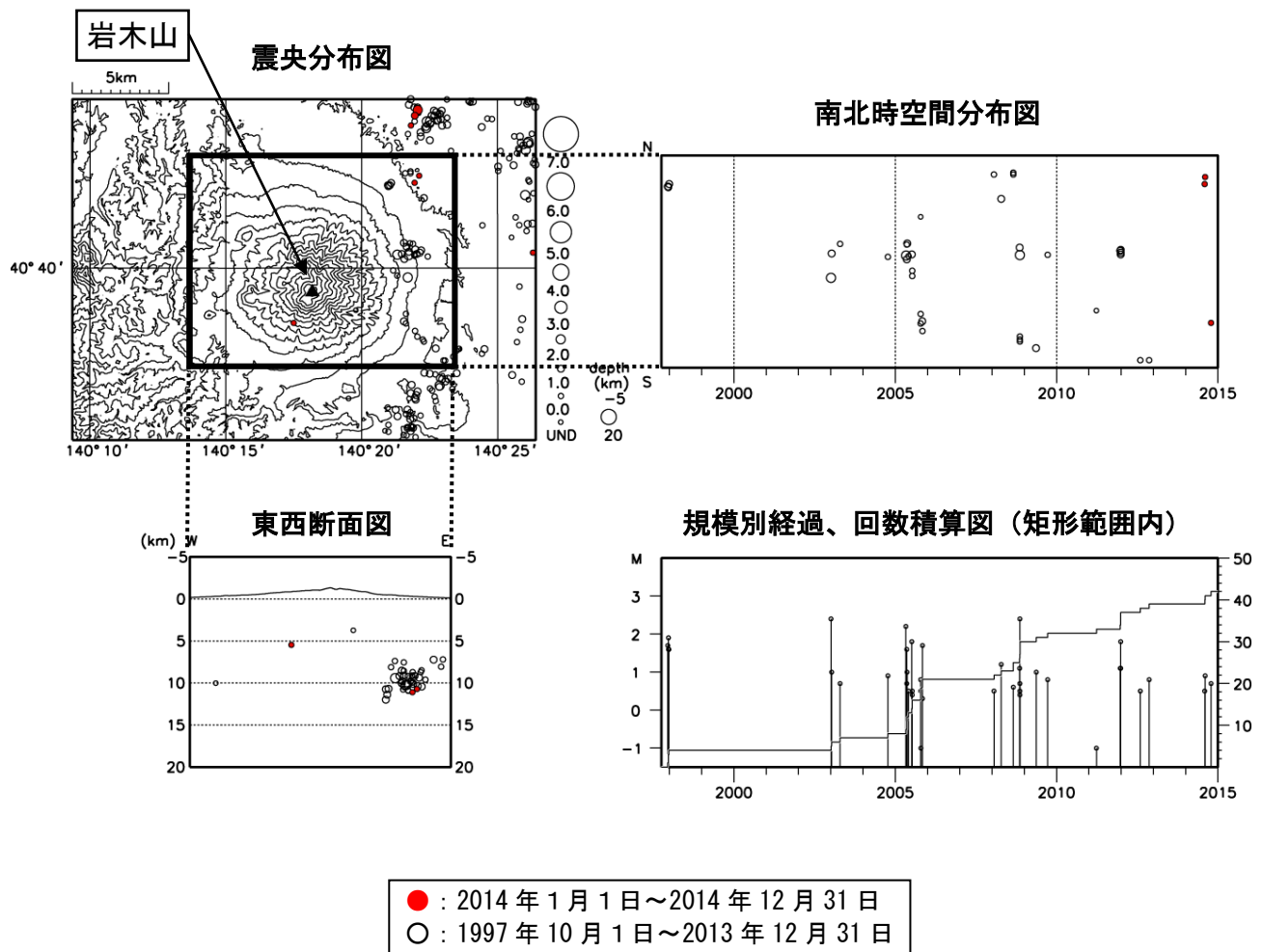


図 13 広域地震観測網による岩木山周辺の地震活動（1997 年 10 月～2014 年 12 月）

注）2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。

- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日修正することがあります。

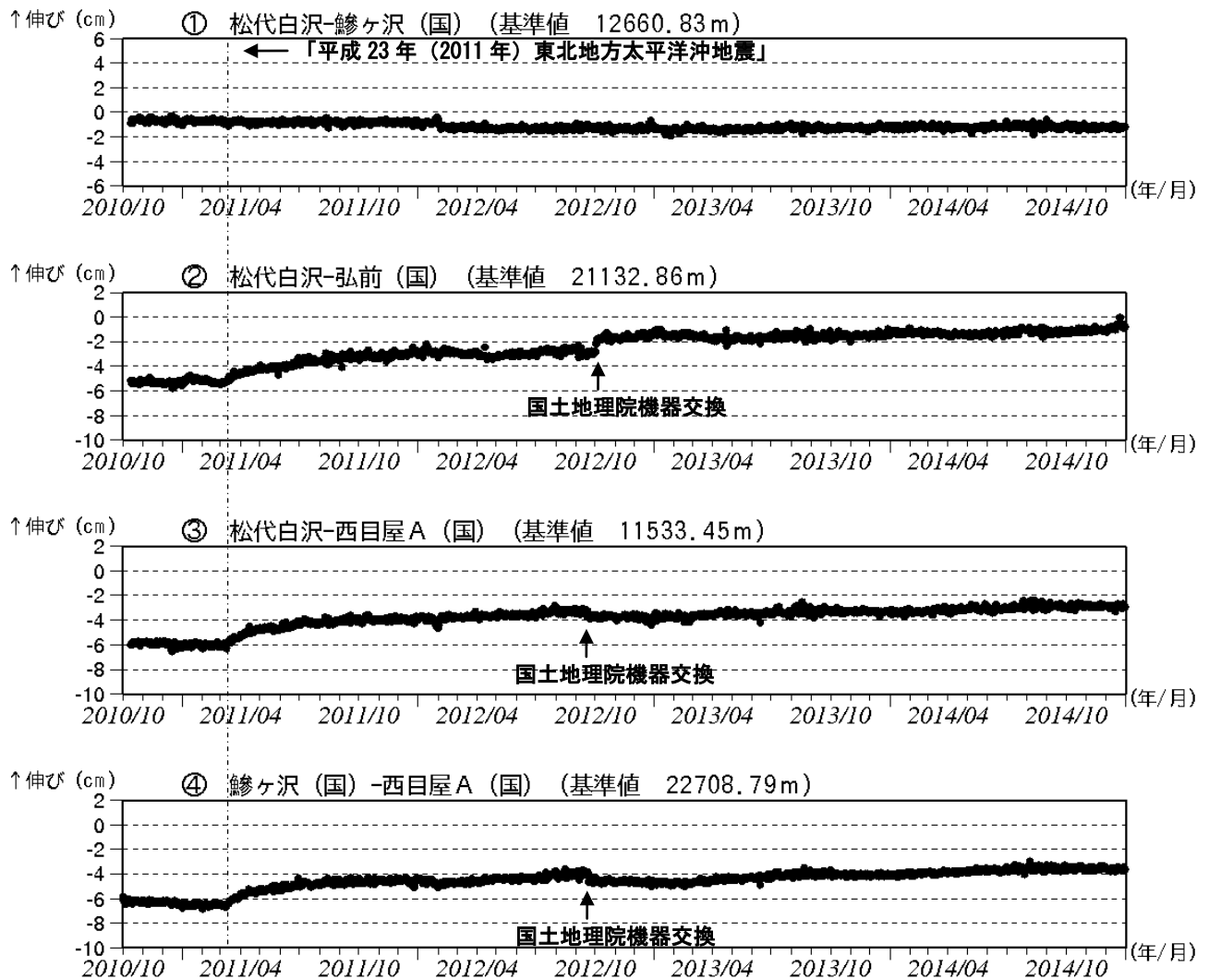


図 14 岩木山 GNSS²⁾ 基線長変化図 (2010 年 10 月～2014 年 12 月)

- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の伸びの傾向は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 東北地方太平洋沖地震に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～④は図 16 の GNSS 基線①～④に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- (国) : 国土地理院

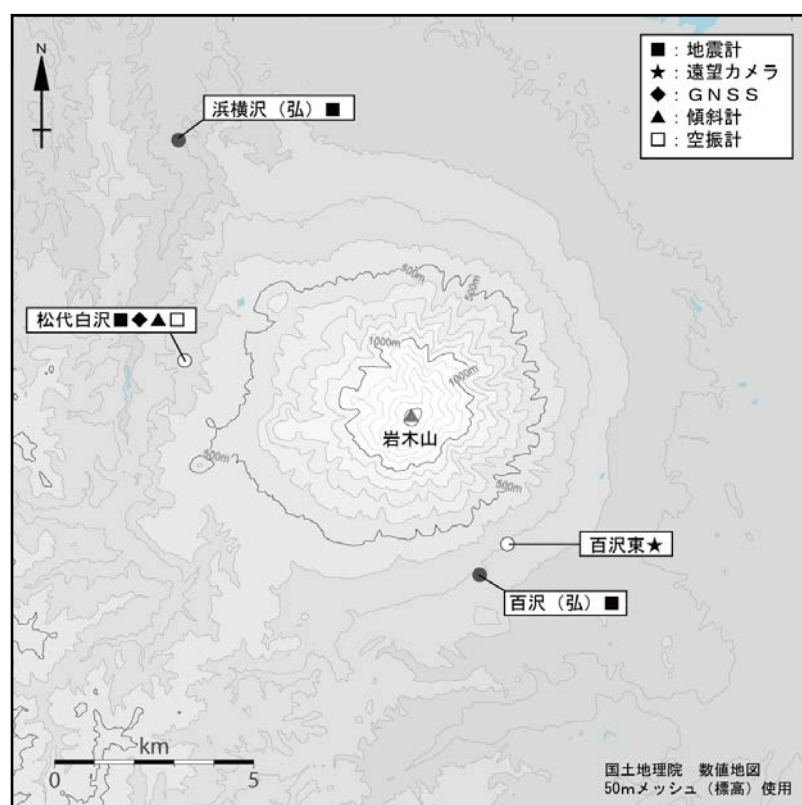


図 15 岩木山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、
小さな黒丸（●）は気象庁以外の
機関の観測点位置を示していま
す。

（弘）：弘前大学

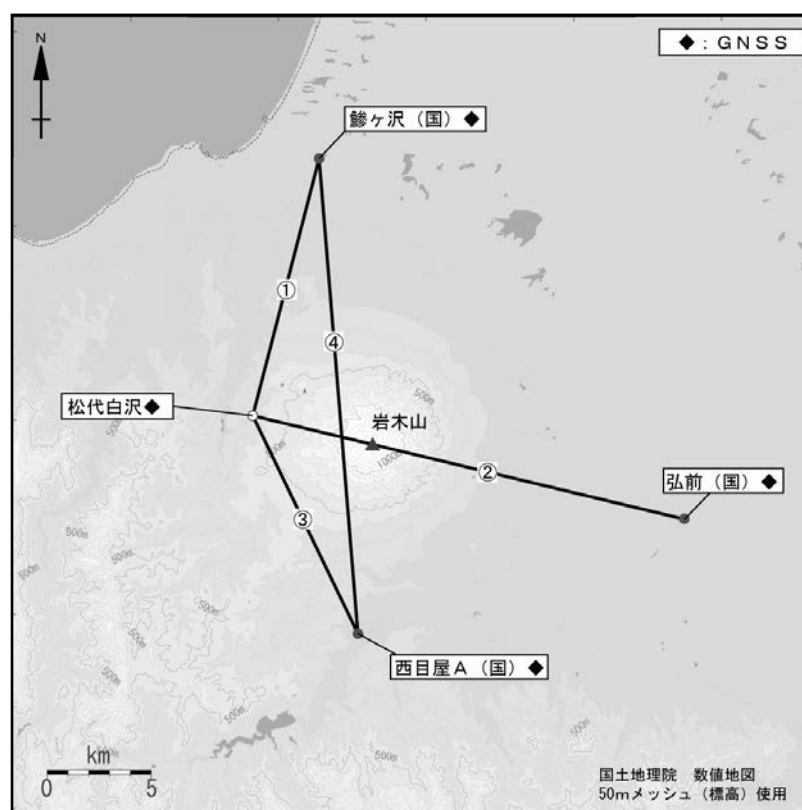


図 16 岩木山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、
小さな黒丸（●）は気象庁以外の
機関の観測点位置を示していま
す。

（国）：国土地理院

表 1 岩木山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	松代白沢	40° 40. 12′	140° 14. 14′	364	-98	2010. 9. 1	短周期 3 成分 ボアホール型
空振計	松代白沢	40° 40. 1′	140° 14. 1′	364	4	2010. 9. 1	
傾斜計	松代白沢	40° 40. 1′	140° 14. 1′	364	-98	2011. 4. 1	
GNSS	松代白沢	40° 40. 1′	140° 14. 1′	364	4	2010. 10. 1	2 周波
遠望カメラ	百沢東	40° 37. 6′	140° 19. 9′	315	5	2010. 4. 1	